

生活 いきいき 家庭

電子図書館

本のない

365日、24時間「開館」して、「貸し出し中」で待たされることがない。将来の図書館の一つの姿といわれる「電子図書館」が、国立奈良先端科学技

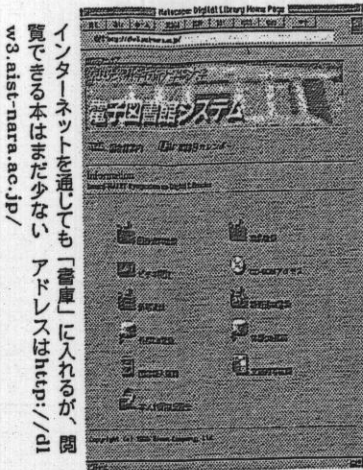
術大学院大学(奈良県生駒市)にオープンして7カ月余り。本のない図書館とは、どんな仕組みなのか。利用状況は。課題は何か。【大西 康裕】

■ オープンして7カ月余

□ アクセス1日平均3千人

□ 今は少ない「読める」図書

同大学は学生6377人、86とカウントされている教官144人。3階建て延べ24500平方メートルの付属図書館で利用者の姿はほとんど見かけない。目立つのは、全国からの見学者。しかし、4～10月の半年間に、書庫にわけいった学生、教官数は延べ24万8054、学校関係者以外は同41万9479。1日平均にすると3000



インターネットを通じて「書庫」に入れるが、閲覧できる本はまだ少ない。アドレスはhttp://ip.w3.aist-nara.ac.jp/

操作し、目当ての本を探し、画面の中でページを開く。



これが「書庫」 黒いボックスにデジタル化された情報が次々に蓄積される

ビテオの場合も同じだ。ただから、1年中オープンしているし、貸し出し中という事態も起こらない。同大学はすべての研究室にパソコンがあり、コンピュータに接続さえすれば、図書館に足を運ぶ必要がない。そして、閲覧には制限があるが、図書館の機能の一部はインターネット上に公開されているため、学校外から

もアクセス可能なのだ。同大学学術情報課長の福富正彦さんは「研究室や自宅にいながら調べ物ができる。学外からのアクセス件数が全体の64%を占める。これは予想以上でした」と話す。1階の電子化機器室に入る。普通の図書館の書庫に当たる部屋だが、当然ながら本はない。高さ50センチの黒いボックスを指さして、福富さんは「これが磁気ディスク装置です。この中に電子化された本やビテオがほとんど蓄積されています」と説明する。

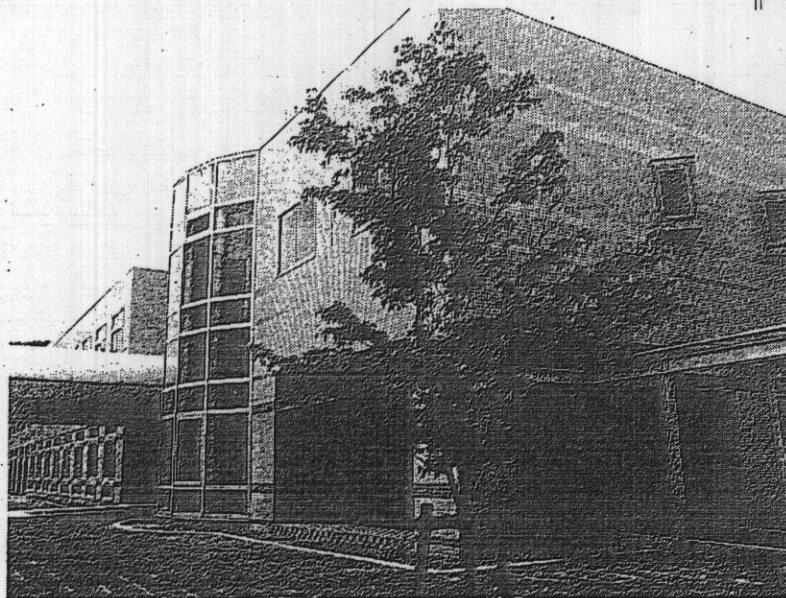
一方、最大の課題は、著作権の問題。題名、著者名などの目録だけだと問題はないが、回線を通じて、閲覧できるように中身を複製、デジタル化すると、問題が発生する。現在、雑誌768タイトルが目録になっているが、著作権問題をクリアしているのは89。図書の場合は約1万2000冊のうち46冊だ。中身まで見られる雑誌や図書が増えるまで、かなり時間がかかりそうだ。

最大の課題は著作権

最大の課題は著作権

「出版社から資料を請求される。こちらでもかなかんと言っ予算があるし、何よりも例となるから慎重になる」(福富さん)。理解がある。著作権について、全体のルールを早く作ってほしい」と

くらし 発見



図書電子情報化する「電子図書館」

全国初の「電子図書館」

奈良先端科学技術大学院大学

平成五年四月、情報科学、バイオサイエンスを

中心とした先端科学技術分野の高度な基礎研究を行う大学院だけの大学として国立奈良先端科学技術大学院大学が開学。今年四月から新研究科「物質創成科学研究科」が設けられ、これまでの「情報科学研究科」と「バイオサイエンス研究科」と併せ、先端科学技術の主要な三分野がそろった。新研究科は、原子レベルから物質を解析し、主にニューロミクスやシリコンチップ、人工臓器

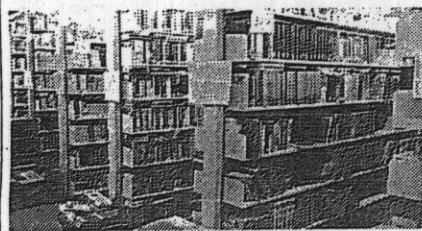
などを研究する。一学年の定員は修士課程(二年制)九十人、博士課程(三年制)三十人の予定で、平成十年から受け入れられる。また、同大学では今年五月、大学付属図書館をまるごと電子情報化する。全国で初めての「電子図書館」の運用が始まった。図書や雑誌のほか、ビデオテープやCD-ROM、M、マイクロフィルムなども情報として発信する。将来的には図書館のない図書館もあり得るという。将来的に、学研都市内の民間企業などネットワークを結び、図書や図面などの情報を提供する事も可能だ。

読売新聞 平成8年8月14日(水)夕刊

電子出版の世界

夢の図書館にも著作権問題の壁…

情報提供を制限



一般の図書館の書庫には、ずらりと本が並んでいるが…

京阪奈学研都市にある奈良先端科学技術大学院大学の付属図書館。書架にはわずかな雑誌や辞書しか並んでいない。ここは、三月に開館したパソコンで書物のデータベースを閲覧する全館長の高忠雄氏が話す。それでも、「著作物の性格したい」という面もある。大学院大学のため学生は修士課程以上で、設置されている研究科は、情報科学とバイオサイエンスだけ。必要な資料は特定分野の学会誌などの専門書に限られる。そこに論文を発表した著者は、広く研究成果を知ってもらえるなら、著作権料などを要求しないケアみました。(木村 未来記者)

京阪奈学研都市にある奈良先端科学技術大学院大学の付属図書館。書架にはわずかな雑誌や辞書しか並んでいない。ここは、三月に開館したパソコンで書物のデータベースを閲覧する全館長の高忠雄氏が話す。それでも、「著作物の性格したい」という面もある。大学院大学のため学生は修士課程以上で、設置されている研究科は、情報科学とバイオサイエンスだけ。必要な資料は特定分野の学会誌などの専門書に限られる。そこに論文を発表した著者は、広く研究成果を知ってもらえるなら、著作権料などを要求しないケアみました。(木村 未来記者)

全国初の電子図書館だ。自宅からアクセスすれば、いつでも利用できる。データベース化された書物、ア・サイエンス社など、海が、貸し出し中になる。外の出版社だ。メディア時代をリードしてみたい場合も、すぐにその内容は、電子図書館も重要な顧客と考えたからでしょう。夢のような図書館だが、う」と高氏が説明する。ここでも著作権問題が壁になっている。利用者がオンラインを通して自由に資料を読み、簡単に複製できれば、作者や出版社が大きな被害を受けるからだ。出版社には「情報の提供は学内だけにしてほしい」というところも多く、外部に公開されているのは、著者名やタイトルなどの概要が中心。「辞典を電子化しよう」として、高額の著作権料を要求されました」と、許諾をとって電子化する内容の充実に伴い、アクセス数も増加、七月は約一万五千件にのぼった。高氏は「データベースの核をつくるのは五年計画です。あわてる必要はありません」と話す。電子図書館はすでに夢の世界ではなくなっている。(木村 未来記者)

電子図書館 著作権の壁

奈良先端科学技術大学院大学蔵書65000冊

出版社「二の足」 許可は図書23冊

関西文化学術研究都市高
山地区の中核施設、国立奈
良先端科学技術大学院大学
(奈良県生駒市)が日本で
初めて建設した電子図書館
で、蔵書を電子化する作業
が著作権の壁に阻まれ、
滞っていることが八日、わ
かった。本のデータをコン

ピューターネットワークを
通じて提供できる利点も、
出版社側にとっては大きな
マイナスになるためだ。全
蔵書六千五百冊のうち電子
化が許可されたのは図書で
は二十三冊だけ、三年後を
めどにしてはいる。完全電子
化は極めて遅くなっている。

電子図書館は、図書、雑
誌、マイクロ資料、ビデオ
などあらゆる情報をデー
タベース化し、コンピュー
ターネットワークを通じて
利用者に二十四時間提供で
きる。

利用者にとっては、自宅
からいつでも利用でき、計
画性だ。
め細かな検索も可能。しか
も「貸し出し中」の心配も
ない理想的な図書館。図書
権法などで著作権者に承認
を得ることが必要。出版社
側にとっては売り上げに大
きな影響が出る。が予想
され、電子化された情報に
関する価格制度などが未整

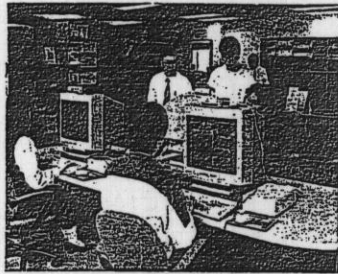
備なところあって、これま
で電子化の許可が出たの
は図書二十三冊、雑誌約九
十タイトル。図書館側の要
請「二の足」を踏んでいるの
が現状という。
大学側では、アドバイザ
ー委員会を結成して学外の
有識者に意見を求めるほか
、「デジタル図書館研究会」
を定期的に開催するなど
として電子図書館の有用性
をアピールしていく考えだ
が、「このままでは三年後
の完全電子化は難しいので
は」と頭を悩めている。

Netz 平成8年6月29日(土)

Netz

がっけん探訪 VOL.5

奈良先端科学技術
大学院大学
電子図書館



マルチメディア時代の 「居ながら24時間」図書館

従来の図書館では夏休みともなるものなら、大人から子供まで、開館を待つ行列を作り、静かなる居の争奪戦が繰り広げられていた。一歩出られると見たい本がなかったり、もう少し居たくても開館時間には席を占められたりした経験、誰にもあるのでは。今回はマルチメディア時代の新しい図書館のあり方を探る電子図書館取材してみた。

生駒市高山地区にある奈良先端科学技術大学院大学、平成3年のオープンと共に附属図書館も設置された。21世紀の先端科学技術を担う中枢機関として形を整え、平成8年4月、電子図書館として開館。従来の図書や雑誌の電子化に加え、学内での研究成果の発信と学外からの検索ができるようになっている。

ここでの大きな特徴は①図書、雑誌、マイクロフィルム、ビデオ、CD-ROMなどのメディアの種類を意識せずに、情報の検索・閲覧ができること。②学内ネットワークに接続されたワークステーションから「居ながら24時間」必要な情報を入力、プリントアウトできる。③学外の学術情報もネットワークを通じ、学内と同様に検索・閲覧ができる、となっている。「いながら」とか「24時間」など聞くとならば便利そう、調べものも効率よくこなせそう、お尻の重い人も不精者も図書館嫌いを解消できるかも。

次世代の図書館システムを体験！
実際、一般の人が利用できる2Fのフロアで検索・閲覧にチャレンジしてみた。
パソコンの端末で電子図書館ホームページを呼び出す。簡易検索はキーワードにより検索できるシステム。「パイオ」で入力すると書籍86、論文18との検索結果一覧画面が。これは、パイオに関する冊子がそれぞれ86と18あるという意味。論文を選択し、次に目次情報画面で該当するページを選択すると、その本文が画面に表示されるといシステム。画面の拡大やカラー印刷も可能なため、細かな情報も見やすい。
同大学の学術情報課課長補佐市原松司さんは「従来の図書館では、閲覧場所と書庫で建物全体の75%を占めていたんですね。ここは大学の附属図書館という性格上、常に最新情報のスピーディーな入手が必要で、過去の資料はほとんど意味をもたないです。今後3年間の予定でさらに電子化を進め、平成11年にはマルチメディア電子図書館として完成させる計画です。」
公共の図書館と違って、情報科学やパイオサイエンスなどの学術情報がほとんどなので、利用者は大学関係者や専門家が多数。多少の制約はあるものの、一般の人も9時から17時までなら2Fフロアを利用できる。なお、隣の大学会館のレ스토랑も一般開放している。結構おいしいと市原さんの評価。検索に疲れたら、ぜひ一度息抜きを。

◎奈良先端科学技術大学院大学
(生駒市高山町)891615
☎074371215093

第4部 学研の挑戦 >1<

京都リサーチ

京阪奈丘陵地に建設が進む関西文化学術研究都市は、誕生十年を迎えた。国家事業として建設された筑波研究学園都市(茨城県)と違って、初の産官学連携による新都市づくりは第二段階に入り、民間研究機関も国内に情報発信し始めた。だが、歴史と伝統を背に大学が集積する京都市と学研都市は、近くて遠い関係。交流は少なく、京都府民の学研都市への関心も薄い。二十一世紀の文化首都形成にとって、台頭する学研都市と京都市は同輪だ。二つの「学研の都」の連携を深め、どう京都の再興に結びつけていくのか。学研都市の現状を追い、その道筋を尋ねる。

昨夜、関西文化学術研究都市の中核施設である国際電気通信基礎技術研究所(AIST)と京都府相楽郡精華町の進化システム研究所が、人工生命「ティエ」の開発で世界で初めて成功した。高速電話回線をつなげた「コンコーター」の間、まるで生物のように自在に動き回り、自分の住みやすい場所を探して、突然変異や自己増殖を繰り返す周期的な発明だ。開発の中心となった米国人研究者のトマス・レイさん(40)は「ティエ」は人工生命の生物学を教える教材で、この分野の第一人者として知られる。九三年に来自視覚や聴覚、触覚に人工的な刺激を加え、現在とは違う現実感を体験させる「バーチャリアリティ」(仮想

頭越し

世界の頭脳が集まる



多彩な交流、刺激に

現発の基礎研究など、七、東京大など四つの大学からの研究がある。「留学」している大学院生。現在、約二百四十人の研究者のうち、外国人は半分にシフト、フランスなどから約五十五人。このほか、

の部屋には毎月、世界中の研究者から熱意を注ぎ込まれる。五月末に国内初の本格的な電子図書館が完成した。本雑誌を多シタツに普及し、研究室や学生とも交流が盛んなのが京大に「魅力的」と話す。

「これまで京大入りすれば海外の京大研究者も、最近学研に直接来る。五月末には、ノーベル化学賞を受賞したベルギーのイリヤ・プリゴジーンも最初に学研へ入り、講演した。」

必要なら文献を取り出せば、本のない本の図書館に、全国から見学者が絶えない。学研の中心も高まる。同大学院大の動きは京大の研究者が集まるAISTのほかに、地球環境保護の専門研究機関では世界唯一の大規模に実施した学生募集の地球環境産業技術研究機構(RIST)、世界的な学研が学際交流する国際高等研究所など、約五十の研究機関が立地。今や世界の頭脳が京都市を飛び越え、学研に集まりつつある。人が集まるのは学研唯一の大規模洗学長は分析する。京大大学院、奈良先端科。

このシリーズは木村和男、結城公生(以上文化)、高田健吉(企画)、野田敬司(政経)、比野敏樹(社会)、佐藤均、本城憲一、木原真、熊谷修(以上写真部)が担当します。

知恵を出し合う、黒ジャンの人の開発した「人工生命」について議論を重ねる。研究者の自由な交流が新しいものを生み出す(京都府相楽郡精華町・AIST)



発行所 京都市中京区烏丸通丸の内上
〒604 ☎075(222)2111



京都新聞社
The Kyoto Shimbun Co., Ltd.
郵便部〒600 01090-3-89
© 京都新聞社 1996年

滋賀本社 〒520 ☎775(23)3131

40台駐車可
京料理 萬重
まんじゅう
●本店 ●西陣大宮今出川上ル
●京都駅 ●京都駅地下ポルク店
電話441-2131

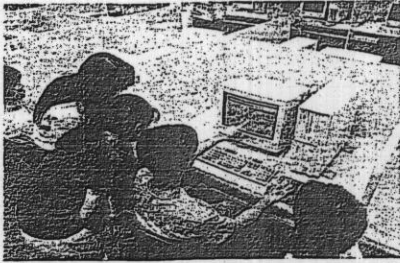
沖繩「慰霊の日」追悼式
【きょうの紙面】
知事ら平和へ決意
オプラインが初の五輪出場
任天堂の64ビット機売り出し
「オクト」破産2年前に破たん

⑨ 近づくサミット
⑩ 森英恵パリ・コレク
⑪ ション20年目
⑫ 週間TVプラザ
⑬ 福祉のページ

読者応答室
(平日の10時～18時)
☎075(241)5421
FAX 075(241)5428
京都新聞インターネット
http://www.kyoto-np.co.jp/

大学で実感！マルチメディア

電子図書館、遠隔授業、携帯パソコン



高度な学習環境を構築する上で、電子図書館の活用が注目されている。最新のマルチメディア技術を取り入れた電子図書館は、従来の紙媒体の図書に比べて、検索機能が大幅に向上している。また、遠隔授業や携帯パソコンの普及も、学習の自由度を高める要因となっている。

電子図書館の活用は、学習の効率化と情報の共有化を促進する。特に、多岐にわたる分野の資料を迅速に検索できる点は、研究者や学生にとって大きなメリットである。また、遠隔授業は、時間や場所を問わずに学習できるという利点があり、特に遠隔地の学生にとって有益である。

携帯パソコンの普及も、学習の自由度を高める要因となっている。外出先でも簡単に資料を検索したり、授業に参加したりできるという利点があり、学習の柔軟性を高めることができる。

情報発信機能の強化狙う

関西の大学が、電子図書館や高速通信網を活用した遠隔授業など、マルチメディアを活用した取り組みを相次いで始めている。就職難対策として学生に高度情報発信能力を身に付けさせ、一方で大学の情報発信能力を強化する狙いがある。

関西大学は、電子図書館や高速通信網を活用した遠隔授業など、マルチメディアを活用した取り組みを相次いで始めている。就職難対策として学生に高度情報発信能力を身に付けさせ、一方で大学の情報発信能力を強化する狙いがある。

関西大学は、電子図書館や高速通信網を活用した遠隔授業など、マルチメディアを活用した取り組みを相次いで始めている。就職難対策として学生に高度情報発信能力を身に付けさせ、一方で大学の情報発信能力を強化する狙いがある。

電子図書館は、従来の紙媒体の図書に比べて、検索機能が大幅に向上している。また、遠隔授業や携帯パソコンの普及も、学習の自由度を高める要因となっている。

電子図書館の活用は、学習の効率化と情報の共有化を促進する。特に、多岐にわたる分野の資料を迅速に検索できる点は、研究者や学生にとって大きなメリットである。また、遠隔授業は、時間や場所を問わずに学習できるという利点があり、特に遠隔地の学生にとって有益である。

携帯パソコンの普及も、学習の自由度を高める要因となっている。外出先でも簡単に資料を検索したり、授業に参加したりできるという利点があり、学習の柔軟性を高めることができる。

電子図書館の活用は、学習の効率化と情報の共有化を促進する。特に、多岐にわたる分野の資料を迅速に検索できる点は、研究者や学生にとって大きなメリットである。また、遠隔授業は、時間や場所を問わずに学習できるという利点があり、特に遠隔地の学生にとって有益である。

携帯パソコンの普及も、学習の自由度を高める要因となっている。外出先でも簡単に資料を検索したり、授業に参加したりできるという利点があり、学習の柔軟性を高めることができる。

電子図書館の活用は、学習の効率化と情報の共有化を促進する。特に、多岐にわたる分野の資料を迅速に検索できる点は、研究者や学生にとって大きなメリットである。また、遠隔授業は、時間や場所を問わずに学習できるという利点があり、特に遠隔地の学生にとって有益である。

携帯パソコンの普及も、学習の自由度を高める要因となっている。外出先でも簡単に資料を検索したり、授業に参加したりできるという利点があり、学習の柔軟性を高めることができる。

電子図書館の活用は、学習の効率化と情報の共有化を促進する。特に、多岐にわたる分野の資料を迅速に検索できる点は、研究者や学生にとって大きなメリットである。また、遠隔授業は、時間や場所を問わずに学習できるという利点があり、特に遠隔地の学生にとって有益である。

携帯パソコンの普及も、学習の自由度を高める要因となっている。外出先でも簡単に資料を検索したり、授業に参加したりできるという利点があり、学習の柔軟性を高めることができる。

平成8年(1996年)6月18日 火曜日

関西のマルチメディア

奈良先端科学技術大学院大学 大学院情報科学研究科 市原松司さん(46)

日本初の電子図書館



仕事に悩む、最盛期の「仕事に悩む」の責任は誰に帰せようか、という問いかけが、市原松司さん(46)の心を悩ませた。電子図書館の活用は、学習の効率化と情報の共有化を促進する。特に、多岐にわたる分野の資料を迅速に検索できる点は、研究者や学生にとって大きなメリットである。また、遠隔授業は、時間や場所を問わずに学習できるという利点があり、特に遠隔地の学生にとって有益である。

携帯パソコンの普及も、学習の自由度を高める要因となっている。外出先でも簡単に資料を検索したり、授業に参加したりできるという利点があり、学習の柔軟性を高めることができる。

電子図書館の活用は、学習の効率化と情報の共有化を促進する。特に、多岐にわたる分野の資料を迅速に検索できる点は、研究者や学生にとって大きなメリットである。また、遠隔授業は、時間や場所を問わずに学習できるという利点があり、特に遠隔地の学生にとって有益である。

携帯パソコンの普及も、学習の自由度を高める要因となっている。外出先でも簡単に資料を検索したり、授業に参加したりできるという利点があり、学習の柔軟性を高めることができる。

電子図書館の活用は、学習の効率化と情報の共有化を促進する。特に、多岐にわたる分野の資料を迅速に検索できる点は、研究者や学生にとって大きなメリットである。また、遠隔授業は、時間や場所を問わずに学習できるという利点があり、特に遠隔地の学生にとって有益である。

携帯パソコンの普及も、学習の自由度を高める要因となっている。外出先でも簡単に資料を検索したり、授業に参加したりできるという利点があり、学習の柔軟性を高めることができる。

良先端科学技術大学院大学の図書館だ。

1階は紙の本を電子化する作業のスペース。最大で1日に7200冊を電子化できるという。2階は閲覧コーナー、そして3階には映像や音声を視聴できる大・中スクリーンが設けられている。現状では、回線で閲覧できるのは、30タイトルの学術雑誌とビデオテープ16本だけだが、市原松司(46)「奈良先端大学術情報課課長補佐」は「所蔵書を中心に順次、電子化を進めていきます。3年後には図書1万

2000点、雑誌600タイトルくらいは電子化されるのではないかと話す。

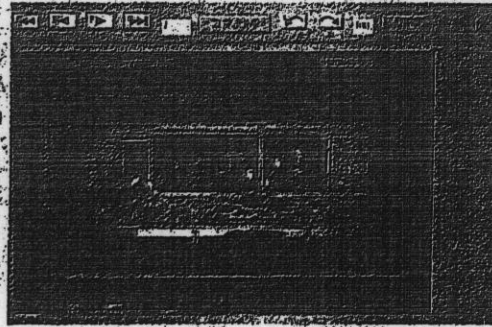
電子化された図書や雑誌は校内の研究室などからはパソコンで閲覧可能だが、著作権上の理由から学内の利用に限られている。市原は、「外部公開の許諾を得た著作物、特に教員、学生の研究レポートや論文などを中心に奈良先端大のホームページに接続すれば外部からでも閲覧できるように準備を進めています」という。

文部省の学術情報センターも



図書だけでも約640万冊の蔵書をもつ日本一大きな国会図書館は、国民に知的財産を平等に提供することが、最大の任務だ。「でも、今はその役割を十分果たせているとは言えない」と田屋はいう。例えば、地方の人の利用は難しい。本を1冊出すにも時間がかかる。電子図書館になれば、どこからでも素早くパソコンで利用することが可能になるのだ。実験成果は、2002年に関西文化学術研究都市に閉館が予定される国立国会図書館関西館(仮称)に生かされる。

国会図書館よりひと足早く、閉館した電子図書館がある。関西文化学術研究都市の高山地区(奈良県生駒市)にある国立奈



また実験中だが、国会図書館所蔵の江戸時代の絵巻も電子データ化され、パソコンでの閲覧が可能だ。

電子図書館の準備を進めている。学術雑誌や論文などを電子化し全国の大学・研究機関に通信回線で提供するもので、来春から実施する方針だ。

(27) ㊦

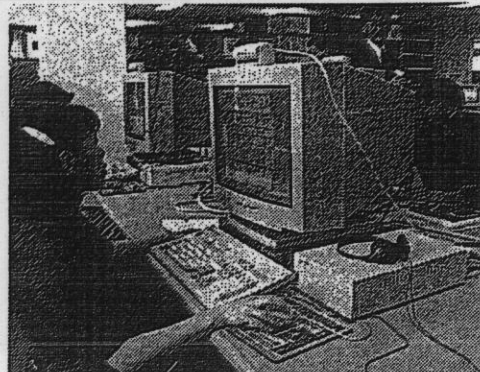
1996年(平成8年)5月24日(金曜日)

産経新聞

奈良読賣

〒630 奈良市法華寺町南神明141-1
 奈良支局 ☎0742(34)1101(代)
 FAX 0742-34-1103
 一 信 部
 福 原 07442(5)6561 五 条 07475(下市局) (2)7611
 大和高田 0745(55)7988 大和郡山 07435(6)1812
 嵯 井 07444(6)5151 生 駒 07437(6)5819

広告のご用は☎0742(23)6458~9
 読売旅行は☎0742(26)5555



コンピューターで学術資料を読み出せる電子図書館の閲覧室

生駒市高山町の奈良先端科学技術大学院大学(桜井洗学長)で国内初の本格的「電子図書館」がオープンし、21日、公開された。雑誌、マイクロフィルム、ビデオテープなど様々な情報をコンピューターに入力し、パソコン通信のようにして利用するシステム。著作権がクリアできれば、将来的にはインターネットなどでも発信する。学術書、雑誌、論文などの文字情報、研究ビデオ、

先端科技大

国内初の電子図書館

端末1600台が接続OK

24時間運用 7000タイトルを目録化

マイクロフィルム、CD-ROMに記録された研究成果などをデジタル化して管理。図書館、研究室、寮などに設置した約千六百台の端末機から引き出し、研究室から図書館へ論文を送ることも出来る。二十四時間体制で運用される。

この日までに、約七千タイトルの目録化作業が終了。当面は著作権をクリアしてデジタル化した雑誌三十種とビデオテープ六本の情報が取り出せる。

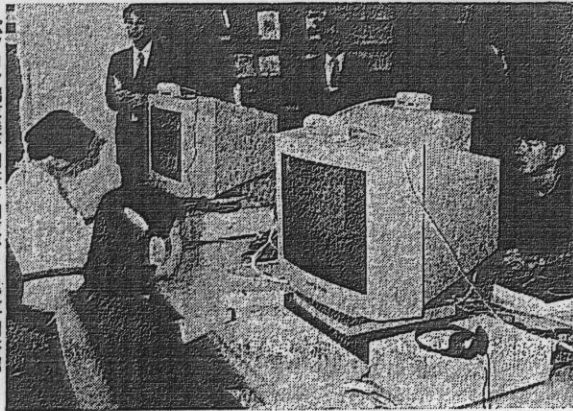
図書館は鉄筋三階延べ二千平方メートル。一階に情報処理と保存機器、二階に閲覧コーナーやセミナー室、三階に視聴覚室を設けた。

報知新聞

平成8年5月24日(金)朝刊

本格的な電子図書館
 所蔵の書籍、雑誌、ビデオなどをすべてコンピューターに入力して管理、自宅などからパソコン通信の要領でいつでも自由に閲覧できる、本格的な「電子図書館」が国立奈良先端科学技術大学院大学(奈良県生駒市)内にオープン、閲覧者に設備が公開された。

図書館まるごと電子情報化



パソコン端末で図書が閲覧できる電子図書館
(23日、生駒市高山町の奈良先端科学技術大学院大学図書館)

奈良先端科学技術大学院大学 研究室に居ながら 24時間利用OK

大学付図書館をまるごと電子情報化する全国で初めての「電子図書館」の運用が、生駒市の国立奈良先端科学技術大学院大学で始まった。図書や雑誌のほか、ビデオテープやCD-ROM、マイクロフィルムなども情報として発信するマルチメディア図書館で、将来的には図書の無い図書館もあり得るという全国で初めての試み。研究室に居ながら、二十四時間図書館が利用できる。

同大学図書館が所蔵する約六千五百冊の図書や約五百種の雑誌、四十五種のCD-ROM、VTR百八十六本のタイトルと目次をすべて電子化して提供するほか、内容も著作権者の了解がとれたものから順に電子化。現時点では、図書は辞典類を中心に二十三冊、雑誌は八十八冊、CD-ROMは九種が著作権者の了解を得ており、電子化を進めて

平成十一年度には大学図書館内の書物のすべてを電子化したいとしており、学内論文や研究レポート、衛星放送番組の録画ビデオも情報として発信する。

図書の購入依頼や文献複写依頼などもできるのが特徴で、発注状況や電子化の状況などもシステムのなかで確認可能。同一時間に同一図書の貸し出しもでき

る。

将来的には、インターネットによる一般の利用も見越しているが、著作権の問題があるため、現時点では一般の利用は目次検索まで。内容の公開は学内の研究者や学生に限られている。

図書館は、鉄筋コンクリート造り三階建てで、延べ床面積は千平方メートル。建物の総建設費は約五億八千万円。一階が図書やビデオ

テープなどを電子化する作業室や、情報を蓄積する将来的に図書館で最も場所を要する閲覧コーナーは、全体の一割にも満たないのも電子図書館ならではという。モニター画面が設置された

産経新聞

平成8年5月24日(金)朝刊



◇…書籍、に完成し二十三冊、報道陣ビデオ、CDに公開された「写真」

◇…平成八年十二月に構想を発表、七年夏から工事を進めていた。電子化する資料は情報科学とバイオサイエンス。入力作業が始まったばかりだが、十一年までに所蔵している書籍、ビデオなど約八千点の蔵書すべての電子化を完了したいとしている。

◇…図書館は三階建てで、一階で資料の電子化と蓄積を行う。学生、教職員には各自一台ずつワークステーションがあり、研究者や学生寮にしながら二十四時間、自由に必要なデータを引き出すことができる。

奈良先端科学技術大学院大学にオープン

図書館は3階建て、延べ約2,000平方メートル。本や雑誌の目次や本文の情報をすべてデータベースに入れ、利用者はキーワードを使って必要な図書タイトルを検索し、実際に本のページを開くように、本文や写真、イラストなどを画像で閲覧、必要に応じて印刷できる。CD-ROM、MCD-ROMは複写機やビデオなども閲覧できる。大学では、3年がかりで蔵書約5千冊すべてを入力する計画。著作権の許諾を得られた蔵書から順次電子化している。今このころ学外からの利用は同大学の研究論文などに限られている。

本のない「電子図書館」

関西文化学術研究都市・高山地区(奈良県生駒市)にある奈良先端科学技術大学院大学に「電子図書館」がオープンし、23日、報道関係者に公開された。一面壁字下に写真。本や雑誌をコンピュータのデータベースに蓄積、パソコンで閲覧する「本のない図書館」。図書館に足を運ばなくても研究室などから24時間アクセスできる。また、「貸し出し中」でがっかりすることもない。全面的な電子化を目指す図書館は画期的という。

パソコンで閲覧

京都新聞 平成8年5月24日(金)朝刊



完成した奈良先端科学技術大学院大の電子図書館(生駒市)

いつでも「閲覧」OK

奈良先端科学技術大学院大 電子図書館が完成

関西文化学術研究都市の奈良先端科学技術大学院大(生駒市)に、日本初の本格的な電子図書館が完成し、二十三日公開された。学術情報誌などを電子化して館内のデータベースに蓄積、学生や教員がいつでも欲しい文献を取り出すことができる。電子図書館は、鉄筋コンクリート3階建て、延べ床面積約二千平方メートル。建設費は約五億八千万円。データベースや学生らが使うコンピュータの端末のほかに、自動的に文献のページを繰り、スムーズに文献を電子化する装置など、電子図書館に必要な機能をすべて備えている。このシステムでは、学内にめぐらせた専用の回線などで、研究室や学生宿舎などの端末と図書館内のデータベースをつないでいる。学生や教員らは端末を操作するだけで、昼夜を問わず読みたい文献を取り出せる。これまでに文献のタイトルや筆者などを紹介した書籍を新たにデータベースに取り入れる予定。学生や教員の論文も電子化し、広く研究成果を発信していくという。



新毎日

夕刊

発行所 大阪府北区津田3丁目4番5号 〒530-2611 電話 (06) 345-1551
 毎日新聞大阪本社 郵便番号 592-8500
 ©毎日新聞社 1996

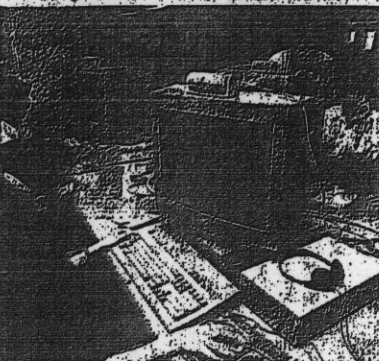
FAX & COPY の複合機

Antico 75
 タイフII 標準版
 740,000円(税別)

mifa
 三田工業

NEWSLINE

「電子図書館」スタート 8面



奈良先端科学技術大学院大学(奈良県生駒市)に本のない図書館「電子図書館」がオープン。パソコンで24時間いつでも閲覧できる同大学院大学で23日、大崎幸三写真。

